

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム について

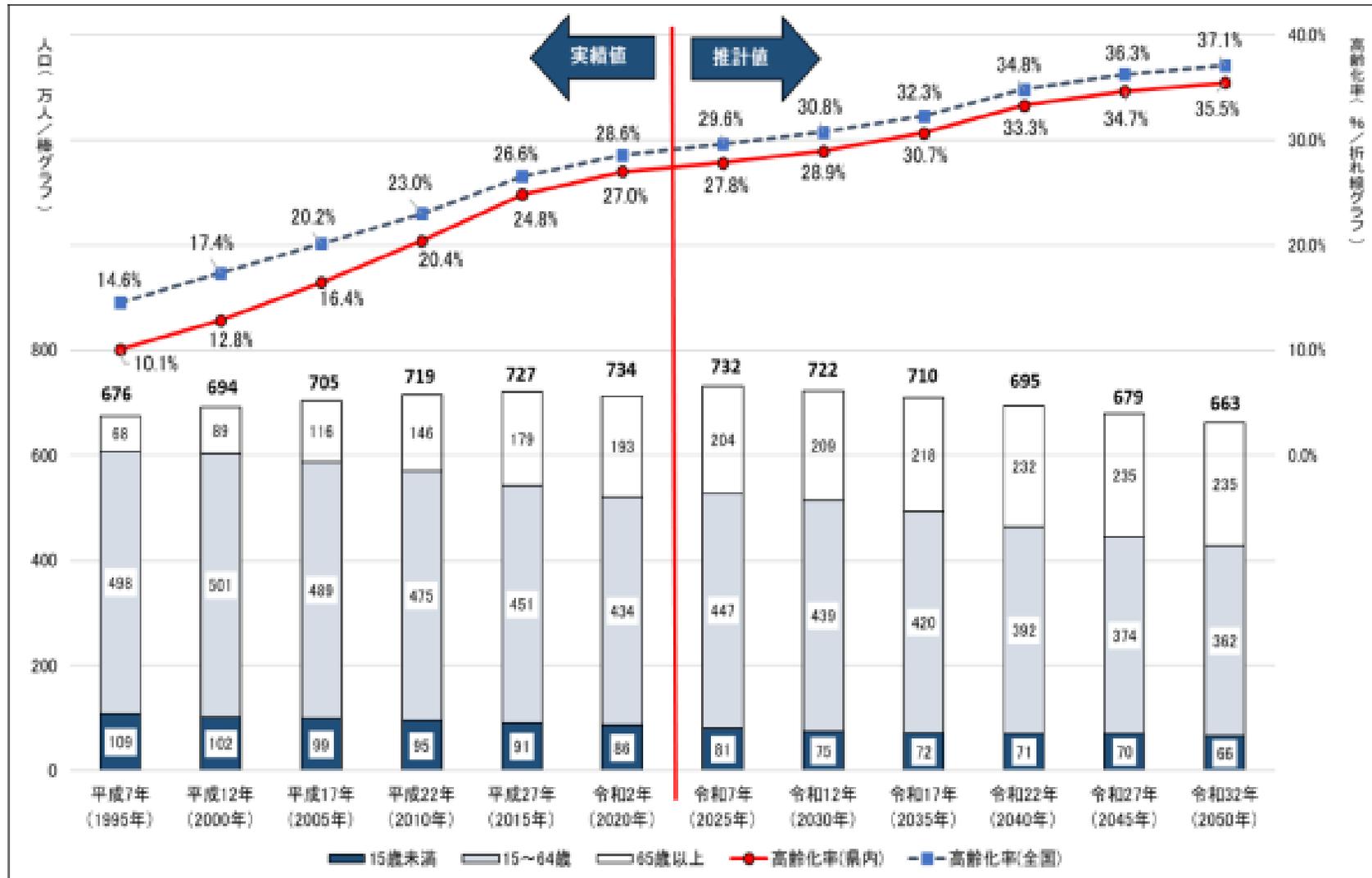


埼玉県のマスコット「コバトン」

介護保険市町村等職員新規研修
埼玉県福祉部地域包括ケア課
地域包括ケア担当
048 - 830 - 3256

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

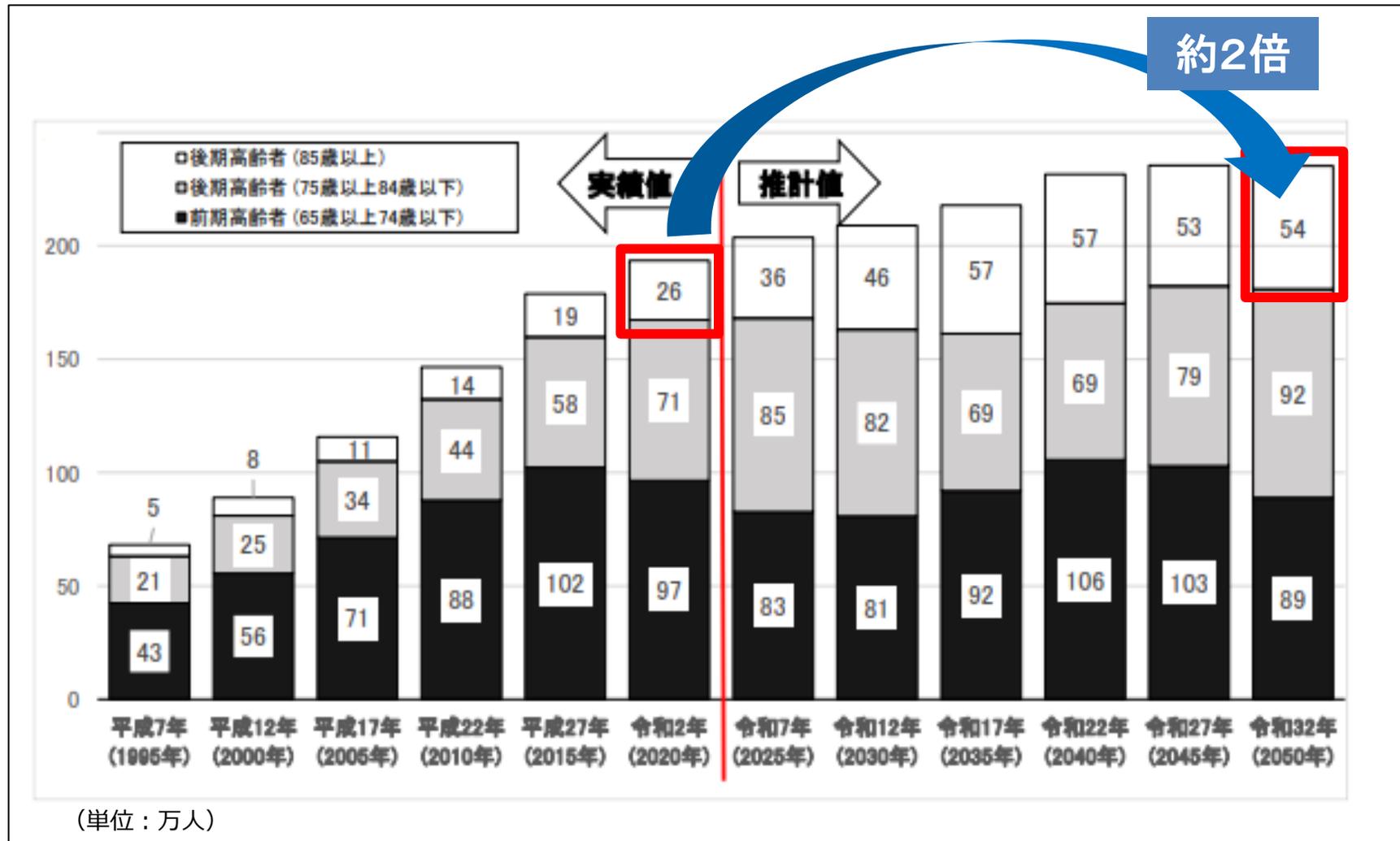
全国・埼玉県の高齢化率及び埼玉県の各年齢層別人口



H7~R2 総務省「国勢調査」 R7~32 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)

埼玉県の実況と地域包括ケアシステム

埼玉県の高齢者人口の内訳

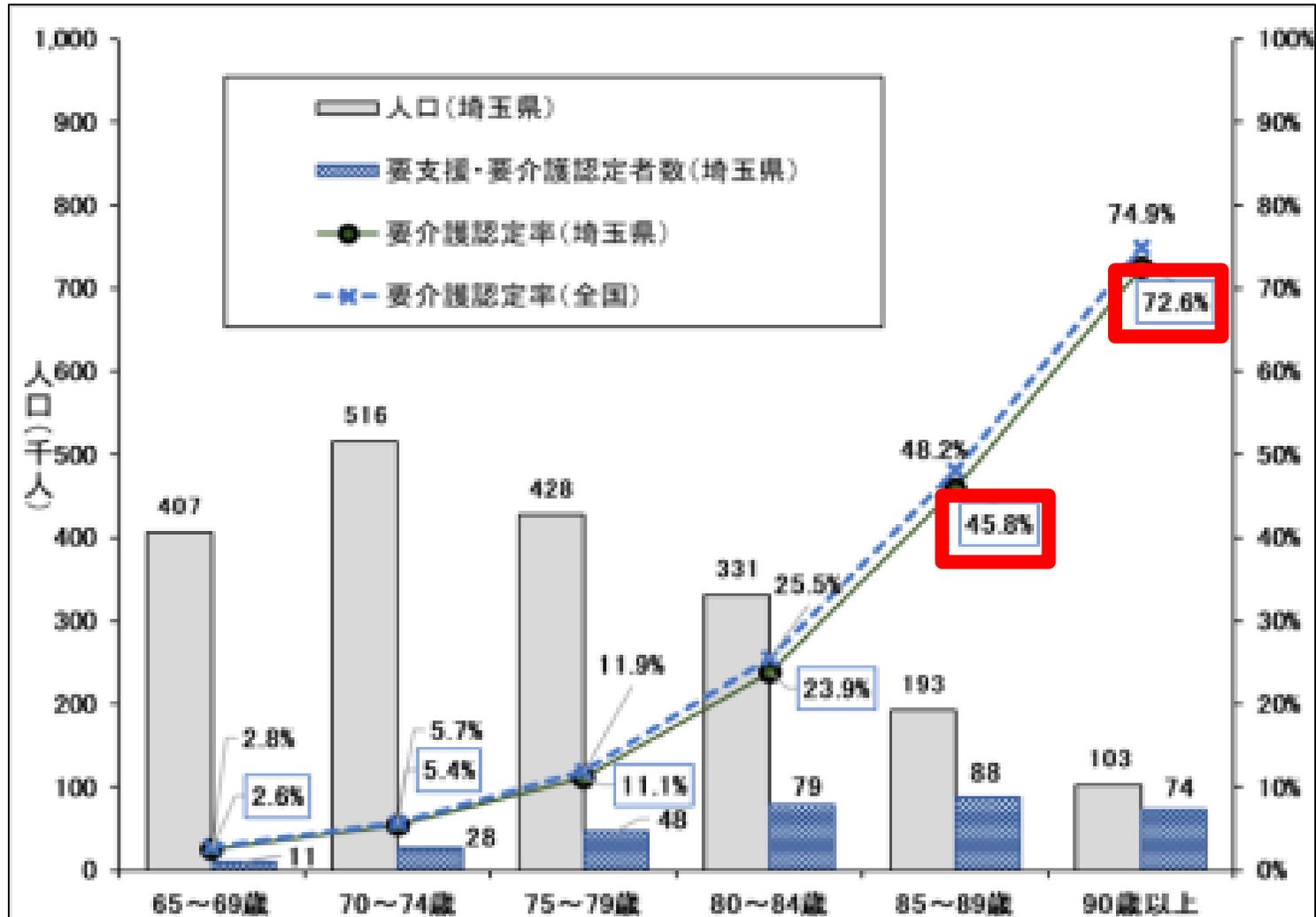


資料：H7～R2 総務省統計局「国勢調査」

R7～R32 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

埼玉県の年齢階級別要支援・要介護認定率（全国比較入り）



資料：介護保険事業状況報告月報(令和4年12月)、埼玉県町(丁)字別人口調査(令和5年1月)

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

認知症高齢者の増加

認知症及びMCIの患者数と有病率の将来推計（全国）

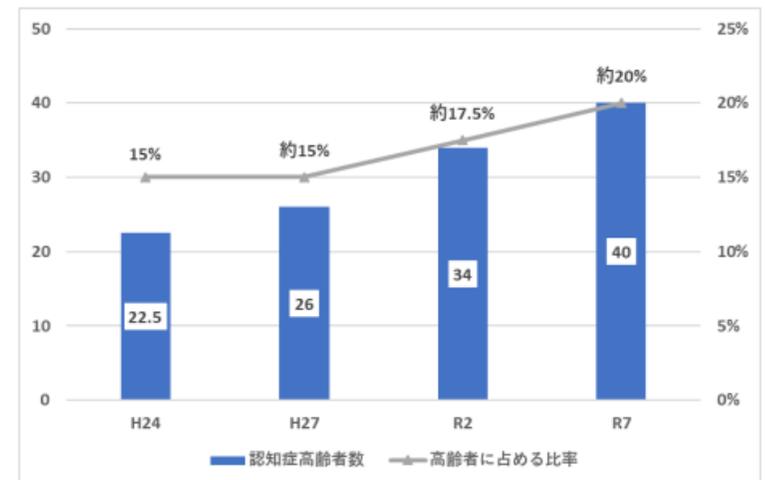
年	認知症		MCI	
	患者数の推計値 (95%CI)(万人)	有病率 (95%CI)(%)	患者数の推計値 (95%CI)(万人)	有病率 (95%CI)(%)
2022	443.2 (418.0-468.4)	12.3 (11.6-13.0)	558.5 (382.0-735.1)	15.5 (10.6-20.4)
2025	471.6 (443.3-500.0)	12.9 (12.1-13.7)	564.3 (487.0-641.5)	15.4 (13.3-17.6)
2030	523.1 (492.7-553.6)	14.2 (13.3-15.0)	593.1 (516.3-669.9)	16.0 (14.0-18.1)
2035	565.5 (533.5-597.5)	15.0 (14.1-15.8)	607.7 (530.6-684.7)	16.1 (14.1-18.1)
2040	584.2 (551.0-617.3)	14.9 (14.0-15.7)	612.8 (533.4-692.2)	15.6 (13.6-17.6)
2045	579.9 (546.7-613.2)	14.7 (13.9-15.5)	617.0 (536.2-697.9)	15.6 (13.6-17.7)
2050	586.6 (552.8-620.5)	15.1 (14.2-16.0)	631.2 (547.9-714.4)	16.2 (14.1-18.4)
2055	616.0 (580.9-651.0)	16.3 (15.4-17.2)	639.7 (558.0-721.4)	16.9 (14.8-19.1)
2060	645.1 (608.7-681.4)	17.7 (16.7-18.7)	632.2 (551.4-713.0)	17.4 (15.1-19.6)

「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（九州大学 二宮教授）の資料より抜粋

2040年には、高齢者の約3人に1人が認知症又はその予備群。
認知症は約584万人（約7人に1人）、
MCI（軽度認知障害）は約613万人（約6人に1人）にのぼる。

埼玉県内の認知症を有する高齢者は、
2025年には約40万人にのぼる（平成24年のおよそ2倍）。

埼玉県の認知症高齢者数

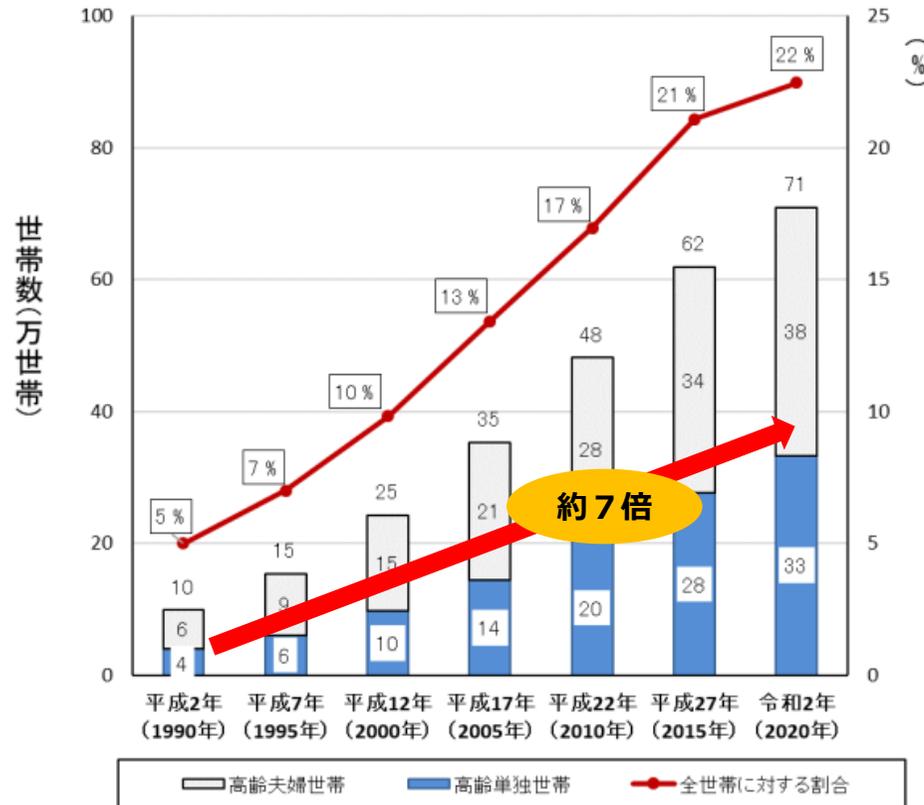


資料：埼玉県福祉部地域包括ケア課作成

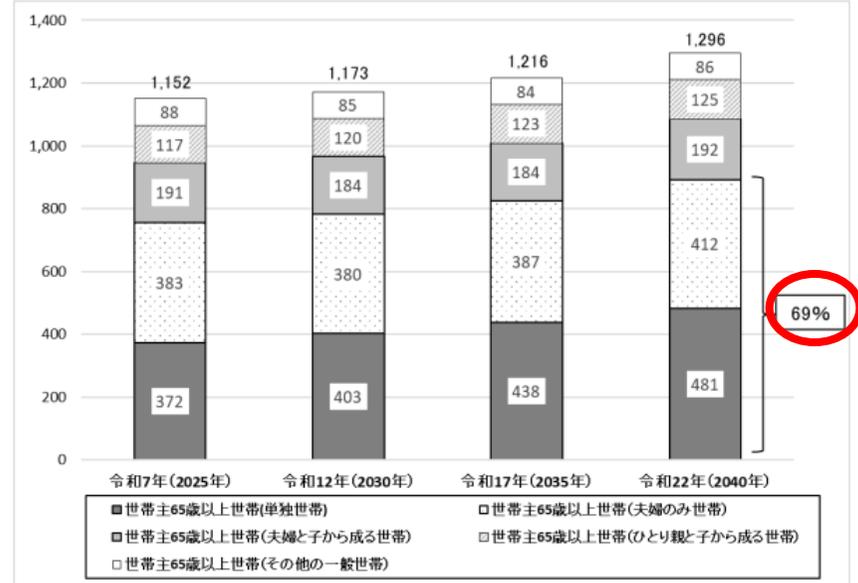
埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

高齢者単独・夫婦世帯の増加

埼玉県の高齢者単独・夫婦世帯数の推移



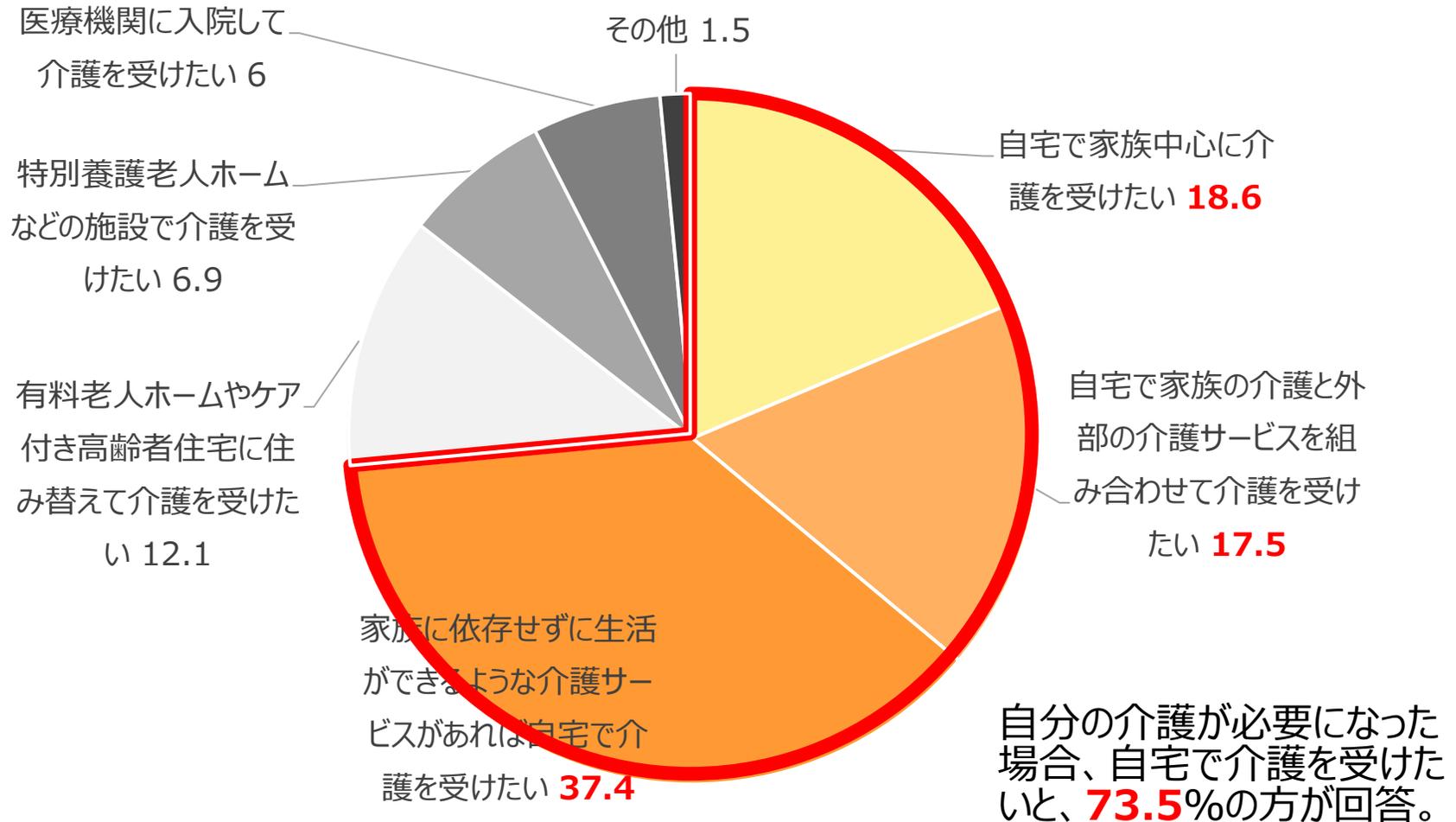
埼玉県の高齢者単独・夫婦世帯数の見通し



令和2年までの30年間で、高齢者単独・夫婦世帯数は約7倍に増加。
 今後も増加が続き、2040年には、65歳以上世帯のうちの約7割が高齢者単独・夫婦世帯になる見込み。

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

どこでどのような介護を受けたいか



出典：厚生労働省政策統括官付政策評価官室委託「高齢社会に関する意識調査」（平成28年）

（注1）質問は、「自分の介護が必要になった場合にどこでどのような介護を受けたいですか。」

（注2）調査対象は、全国の40歳以上の男女。

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

背景

- 高齢者が増える一方、働き手は減っていく
- 認知症、独り暮らし、介護保険軽度認定の高齢者が増えている
- 住み慣れた場所で暮らし続けたい、という高齢者のニーズがある
- 厳しい財政状況の中で、介護保険でこれまでと同様のサービスを提供し続けることは難しい

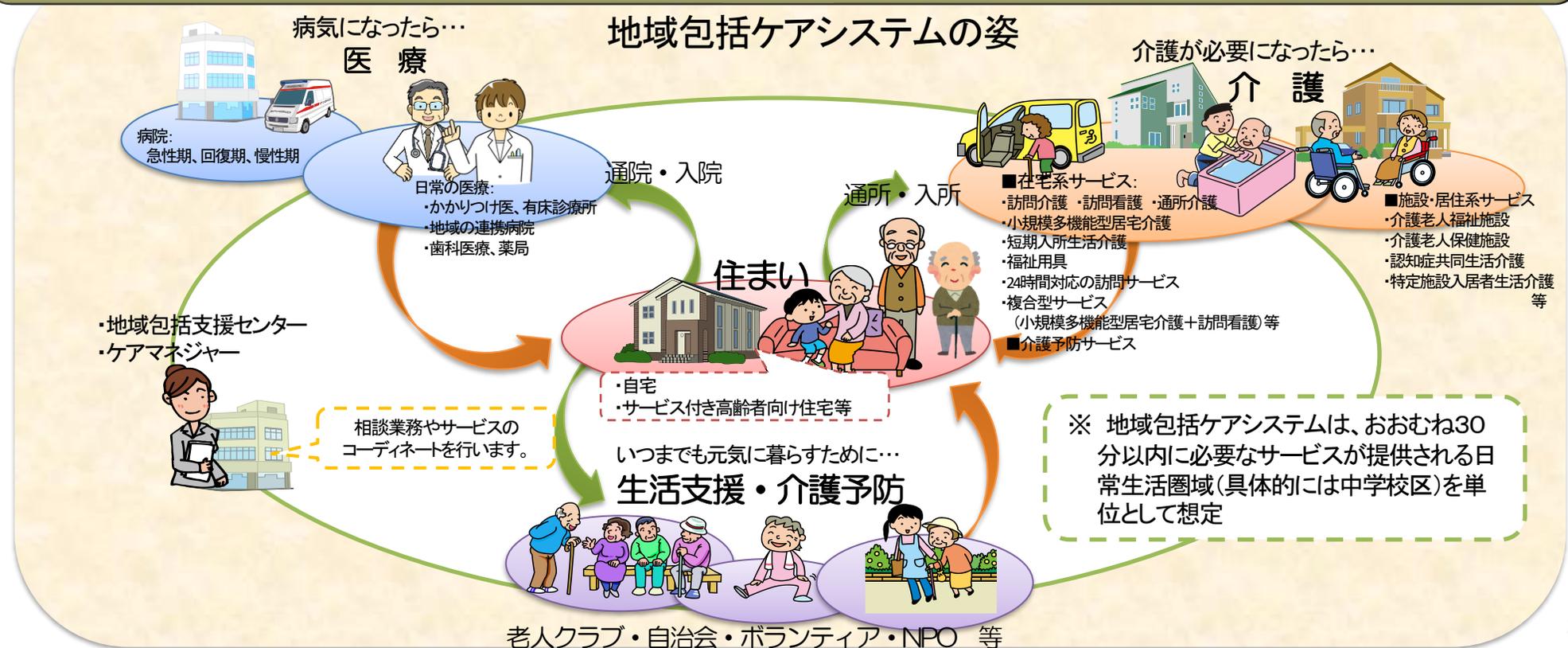
地域包括ケアシステムの構築

解決策

- ★ なるべく長く健康を維持できるようにする（介護予防）
- ★ 介護保険給付以外の社会資源を増やす（生活支援）
- ★ その他、在宅医を増やす（医療）、介護基盤の整備（介護）
在宅医療・介護の連携...

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムの構成要素

「介護」「医療」「福祉」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」と「介護予防・生活支援」が相互に関係し、連携しながら在宅の生活を支えている。



葉 専門職によるサービス
病院・診療所／訪問看護／訪問介護／訪問リハビリテーション／通所介護等の介護保険サービス／生活保護／生活困窮支援等

土 地域生活における社会参加や社会活動
近所との付き合い／友人・知人／地域の通いの場／喫茶店／趣味の会／体操教室／健康マージャン／スーパーマーケット／コンビニ／宅配便／郵便局等

鉢 住まいの確保支援
住みやすい居宅／居住確保支援

皿 自己決定支援
認知症になっても生活を続けるための意思決定支援／成年後見制度／権利擁護事業

埼玉県の現状と地域包括ケアシステム

市町村における地域包括ケアシステム構築のプロセス(概念図)

